

HCDアワード ベストプラクティス推薦書

*は記入必須事項です

事例名*	いつれかを削除*	記入者氏名*	記入日*	
福祉用具サービス計画書および計画作成ガイドラインの開発事例	他薦	江崎 郁子	2014年	11月 日
<p>推薦理由*： HCD活動として優れている点、今後のご自身の活動において参考になる点などを記述して下さい。</p> <p>○福祉用具サービス計画とは、介護保険制度において福祉用具サービスを利用するにあたり、福祉用具専門相談員により個別の利用者ごとに作成される計画書で、「利用者の希望、心身の状況及びその置かれている環境を踏まえ、指定福祉用具貸与の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等」を記載したものである。</p> <p>○個々の利用者の心身の状態や生活環境をよく知り、ニーズを捉え、利用者が目指す生活を実現するためにカスタマイズして計画が作成されるという点で、人間中心の視点に基づいて、「介護サービスの使い方」「福祉用具の使い方」「それらの支援によって実現される生活」が設計されたものと捉えることができる。また、定期的なモニタリングによって、ユーザの状態や利用状況、環境の変化等を把握し必要に応じて計画の見直しが行われる、といったサイクルを形成している点もHCDの枠組みと合致している。</p> <p>○適切な運用を促進するために書式が策定され普及啓発が進められるとともに、適切かつ有効な活用のためのガイドラインが整備されている。また、利用者向けに計画書の読み方を解説するパンフレットを発行し、利用者の理解と関心を高める活動を行っている。</p>		<p>ISO9241-210で規定するプロセスの特定*： 5つのサブプロセスの中で該当する部分を特定し 活動の詳細をご記述く</p> <p>【2】利用状況の把握と特定・・・「アセスメント」利用者の状態像に適した福祉用具を選定するための利用者の希望、利用者の心身の状況やその生活環境に関する情報収集と分析を行う。</p> <p>【3】ユーザ要件の特定・・・「課題抽出、目標設定」、収集した情報を整理し、生活課題（ニーズ）を解決するために適切な利用目標を設定する。アセスメントで明確となった利用者の生活課題（ニーズ）に対し、どのような福祉用具を用い、どのような方法によってそれを解決するか、どのような生活を目指していくのか等を整理する。</p> <p>【4】設計の作成・・・「プランの作成（福祉用具の選定）」の目標達成に有効な福祉用具の具体的な機種を選定する。また、計画に沿ってサービスを提供する。</p> <p>【5】設計の評価・・・「モニタリング」定期的に目標の達成状況の把握や利用者についての継続的なアセスメント等を行う。モニタリングを通じて、利用者の心身の状況、介護者の状況、置かれている環境の変化を把握し、利用する福祉用具を見直すことが望ましいと判断される場合等は、必要に応</p>		
<p>最終成果物の概要*： 概要を説明し 成果物を示す画像を貼ってください。ウェブページの場合はURLを明記して下さい。</p> <p>全国福祉用具専門相談員協会（略称：ふくせん）では、福祉用具の計画的なサービス提供を支援するためのツールとして、2009年に「ふくせん・福祉用具個別援助計画書」、2010年に同計画書に基づく定期の訪問確認により、適切な利用を支援するためのツールとして「モニタリングシート」を開発した。2012年4月より個別利用者に対する福祉用具サービス計画作成の義務づけを受けて修正を行い、ふくせん版「福祉用具サービス計画書」と改称。利用者の状態や生活環境等を記載する基本情報シートと、利用者の生活の目標や使用する福祉用具、その理由、留意事項等を記載する利用計画シートにより構成されている。2014年3月には「計画作成ガイドライン」が策定されるとともに様式の改訂版</p>		<p>専門家としての評価*：評価するポイントやできれば、表彰による波及効果などをご記述ください。</p> <p>介護サービス分野において重視されている「利用者本位」のサービス提供、「自立支援」によるQOL向上の考え方は、人間中心の理念と通じるものがあるが、これまでHCDという観点から論じられてこなかった。こうしたサービスの基盤となる「サービス計画」の作成をHCD活動として捉えることで、対人サービスにもHCDの適用範囲を広げることができると考えられる。※介護保険制度では、個々の利用者ごとに</p>		

HCDアワード ベストプラクティス推薦書

*は記入必須事項です

が公表された。様式は同協会HPよりダウンロードし無償で利用可能となっている。

ふくせん 福祉用具サービス計画書

(基本情報) http://www.zfssk.com/sp/1204_monitoring/2014_kihon.pdf

(利用計画) http://www.zfssk.com/sp/1204_monitoring/2014_riyou.pdf

福祉用具サービス計画作成ガイドライン http://zfssk.rgr.jp/h26_pdf/report_04.pdf

「介護サービス計画（ケアプラン）」とともに、提供される個別のサービスごとに「計画書」の作成が義務付けられている。福祉用具サービスについては新たに24年度より義務付けられたもので、後発ではあるが適切な運用のためのガイドラインが策定され厚生労働省により普及促進のための通知が発出されるなど、活発な取り組みが現在推進中であることから、表彰の対象として着目したものである。

同意事項*：

ご推薦いただいた事例は、推薦者名と共に、HCD-Net内で公開いたします。公開の可否について、以下のいずれかを○で囲んでください。

承諾する ・ 承諾できない

受付番号：09

事例名*
 福祉用具サービス計画書および計画作成ガイドラインの開発事例

参考資料：以下の欄内に添付してください。画像は合計1GB以内にしてください。
 (必須) 本申請に記載されたプラクティスの成果物(製品やウェブサイトなど)の画像。
 (任意) 本申請に記載されたプラクティス事例が紹介されている新聞・雑誌・ウェブページの記事や論文など。

<ふくせん 福祉用具サービス計画書>

ふくせん 福祉用具サービス計画書 (基本情報)		管理番号
フリガナ		作成日
利用者名	性別	生年月日
住所	年齢	要介護度
相談内容	相談者	認定期間
ケアマネジャーとの相談記録	ケアマネジャーとの相談日	
身体状況・ADL (年 月) 現在	疾病	
身長	麻痺・筋力低下	
寝返り	障害日常生活自立度	
起き上がり	認知症の日常生活自立度	
立ち上がり	特記事項	
移乗	介護環境	
座位	家族構成/生介護者	
屋内歩行	他のサービス利用状況	
屋外歩行	利用している福祉用具	
移動	特記事項	
排泄	意欲・意向等	
入浴	利用者の意欲・意向(今困っていること(福祉用具で期待することなど))	
食事		
更衣		
意思の伝達		
視覚・聴覚		
居室サービス計画	住環境	
利用者及び家族の生活に対する意向	□ 戸建	
総合的な援助方針	□ 集合住宅(階)	
	(エレベーター 有 □ 無)	
	※:設置の有無など	

ふくせん 福祉用具サービス計画書(利用計画)		管理番号
フリガナ		認定期間
利用者名	性別	生年月日
居宅介護支援事業所	年齢	要介護度
生活全般の解決すべき課題・ニーズ (福祉用具が必要な理由)	福祉用具利用目標	
1		
2		
3		
4		
選定福祉用具(レンタル・販売)		選定理由
品目	単位数	
機種(型式)		
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
留意事項		
以上、福祉用具サービス計画の内容について説明を受け、内容に同意し、計画書の交付を受けました。		
日付 年 月 日 署名 印		
事業所名	福祉用具専門相談員	
住所	TEL	FAX

参考：
 厚生労働省プレスリリース

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000043462.html>
 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 H P
<http://www.zfssk.com/youshiki/index.html>

受付番号：09